

■コロンビア：エルニーニョ対策を準備

中南米エネルギー情報サイトは2014年7月9日、コロンビア鉱山・エネルギー省は、南米大陸の北部に被害を及ぼすエルニーニョ現象について、国内で起こりうる被害への対策を講じていると伝えた。コロンビアでは、エルニーニョ現象が発生すると夏季（6～8月）に降水量が大幅に減少し、水力発電が影響を受ける。政府は対応策として、火力発電を増強するための施策を進める一方、省エネなどを推進している。また、夏季には隣国ベネズエラへの天然ガス輸出を一部中断、国内にある発電所向けの燃料に充てるとしている。国際連系送電線については、既にベネズエラとエクアドル間が連系されており、現在、パナマとの連系線の建設が計画されている。政府は、パナマとの連系が実現すれば、将来的には他の中米諸国やメキシコとの連系も可能になるとしている。